システム・ノート

本マニュアルは、PC-9801シリーズのシステムノートです。
このマニュアルには対応機種、ハードの設定、拡張などについて書かれています。
ゲームが立ち上がらないときなどにご覧ください。

目次

1.確認事項……2
2.セットアップ……2
3.起動方法……3
4.シナリオディスクのコピー……4
5.対応機種一覧表……5
6.非対応ディスプレイについて……6
7.その他のハードウェア環境について……6
　①拡張RAMボードについて……6
　②EMS方式のRAMボードについて……6
　③音源ボードについて……8
　④MIDIボードについて……8
8.ディップスイッチについて……9
9.VM2／4　UV2／4の設定……10
10.ユーザーサポート……11

1.確認事項

■製品構成

本製品は次のようなもので構成されています。パッケージの中身をお確かめください。

・ＤＩＳＫ１（オープニングディスク）
・ＤＩＳＫ２（ゲームディスク）
・ＤＩＳＫ３（シナリオ「東漢春秋」）
・ＤＩＳＫ４（シナリオ「黄虎兗龍」）
・プレイングマニュアル
・システムノート
・リファレンスマニュアル
・アンケートハガキ
・中国全土図

2.セットアップ

■動作環境

PC－9801版「天舞～三国志正史～」は以下の環境で動作保証します。

・【コンピュータ本体】
※対応機種については「5.対応機種一覧表」をご覧ください。

・【アナログディスプレイ】
※対応ディスプレイについては「6.非対応ディスプレイについて」を参照してください。

・【その他のハードウェア環境】
※ハードウェア環境については「7.その他のハードウェア環境について」を参照してください。

3.起動方法

■次の順序でゲームを起動させてください。

1.オープニングから立ち上げる場合

【操作1】 セットアップに表記されている環境を用意します。電源がONになっている状態でドライブ1にDISK2（ゲームディスク）を、ドライブ2にDISK1（オープニングディスク）を入れて下さい。

【操作2】 リセットスイッチを入れてください。プログラムが読み込まれ、オープニングデモがはじまります。

【操作3】 ゲームを始めたい場合はマウスボタンをクリックするか、何かのキーをおしてください。画面のメッセージに従ってドライブ2のディスクを入れ替えてください。

【操作4】 続いて初期設定をおこないます。

2.シナリオディスクから立ち上げる場合

【操作1】 セットアップに表記されている環境を用意します。電源がONになっている状態でドライブ1にDISK2（ゲームディスク）を、ドライブ2にDISK3またはDISK4のいずれかのシナリオディスクを入れて下さい。

【操作2】 リセットスイッチを入れてください。プログラムが読み込まれ、ゲームがはじまります。

【操作3】 画面のメッセージに従って初期設定をおこなってください。

※以上の操作に従って起動してもゲームが立ち上がらない場合、5項以下の対応一覧、ほか各種設定を参照してください。

4.シナリオディスクのコピー

■「天舞〜三国志正史〜」では次の方法でユーザーディスクのバックアップを行なうことができます。

【操作1】 セットアップに表記されている環境を用意します。電源がONになっている状態でドライブ1にバックアップしたいシナリオディスク（DISK3またはDISK4のいずれか）を入れてください。

【操作2】 リセットスイッチを入れてください。プログラムが読み込まれ、シナリオディスクのコピーモードが立ち上がります。

【操作3】 ドライブ2にブランクディスクをいれて、クリックしてください。ドライブ1に差し込まれたシナリオディスクを、ドライブ2にコピーします。
このとき、ドライブ2に入れるディスクはフォーマットしなくても構いません。

【操作4】 コピーしたディスクは以後、ユーザーディスクとして使用することができます。新たにゲームをする場合は**3.起動方法**を参照してください。

5.対応機種一覧表　～拡張なしで動作保証するもの～

※VM2／4　UV2／4については「8.VM2／4　UV2／4の設定」を参照してください。

■NEC　PC-9801	■EPSON　PC-286／386
UV　11／21	PC-286
UX　21	286C
CV　21	286X
ES　2／4	286U
EX　2／5	286V
※UF	286VE
VM　11／21／41	286VF
VX　2／21／41	286VG
RA　2／5／21／51	286VJ
RS　21／41	286VS
RX　2／4／21／51	286VX
Do	286US
Do+	286UX
DX　2／U2／5／U5	PC-386
DS　2／U2／5／U5	386V
DA　2／U2／5／U5	386S
DA　7／U7	386M
CS　2／5／5/W	386VR
	386GE

※UFは一部の機種自体に動作が不安定なものがあります。

6.非対応ディスプレイについて

■本製品「天舞〜三国志正史〜」はアナログディスプレイ専用版です。デジタルディスプレイには対応しておりません。
お手持ちのディスプレイがアナログかデジタルかを判断するにはNEC製のディスプレイであれば、型番がPC−KD8＊＊とつながればアナログ、PC−KD5＊＊とつながればデジタルディスプレイと判断できます。

※他社のものでも仕様できますが、アナログかデジタルかをメーカー、または店頭でお確かめください。

7.その他のハードウェア環境

■「天舞〜三国志正史〜」は以下のハードウェアに対応しています。ただし、これらはゲームの進行をより快適に楽しむためのものですので、必ずしも用意する必要はありません。

①拡張RAMボード
②EMS方式のRAMボード
③FM音源ボード
④MIDIボード

①拡張RAMボードについて
2M以上のRAMボードに対応しています。拡張RAMボードを使用すると、ディスクアクセスの回数がへり、快適にゲームが進行できます。ボードの増設方法については、ハード本体付属の各マニュアルを参照してください。

②EMS方式のRAMボードについて
EMS方式のRAMボードはメルコ、IOデータ機器の2社のものに対応しています。それ以外のハードに関しては、動作保証いたしかねます。
また、プロテクトメモリ方式には対応していません。

■拡張RAMボードについての詳細事項

①対応していないもの……PC−9801DA
PC−9801DS
PC−9801RA
など、内蔵RAMボードをプロテクトメモリーとして使用するものには対応していません。

②条件により対応しないもの……また、通常のRAMボードでも、EMSのみの使用設定になっている場合は対応できません。
この時の対処の方法は、ご使用のRAMボードのマニュアルをご覧になって、ご使用の機種にあるRAMの設定の内【EMSとIO−BANK】のモードを選んでください。
また、この症状はPC−9801シリーズおよびその互換機において発生します。

③その他の注意事項……RAMディスクの使用時には次のことにご留意ください。

■ディップスイッチ
①の状況でRAMとして認識されていない時は、メモリ不足により起動しなくなりますので、ディップスイッチの3−6をOFFにしてください。

■対応RAMボード
IOデータ機器製とメルコ社製2点。ただし、内蔵タイプのものは使用できません。

■RAMの設定
EMSだけに全てのメモリを割り振ると使用できません。必ず、IOバンクモードを設定の中に含んでご使用ください。

※PC−286Cをご使用の方でEMSメモリを使用する場合はソフトディップスイッチのSW3−5をONにしてサウンドROMを切り離してください。

③FM音源ボードについて

FM音源を標準実装していない機種は、音源拡張ボード（FM3音+PSG）を装備することによって音楽を楽しむことができます。

※NEC純正品（FM3音+PSG3音の規格に準拠したもの）以外での動作保証はしかねます。

④MIDIボードについて

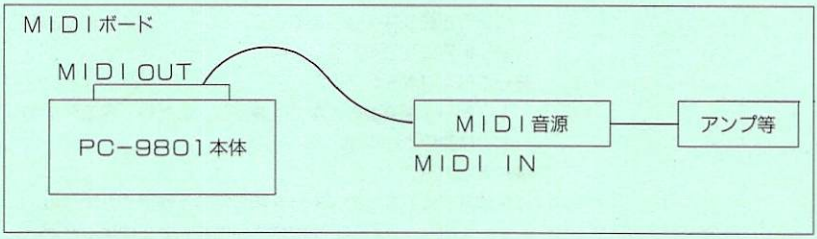
本製品は以下のMIDI音源に対応しています。

ローランド社MIDI音源		
MT−32	CM32L	CM64

MIDI接続に必要なもの

1.PC−9801用のMIDIボード
2.対応しているMIDI音源
3.MIDIケーブル
4.音声再生装置（アンプ、ヘッドホン）

MIDI音源を使用する場合、SHIFTキーを押しながらゲームを起動してください。



※MIDIケーブルが5メートル以上ある場合、信号が正常につながらない場合があります。また、MIDIから出力される音が止まらなくなった場合、いったん電源を切ってしばらくおいてから起動し直してみてください。なお、MIDIについて詳しく知りたい方は市販の専門書などをお読みください。

8.ディップスイッチの設定

①コンピュータの動作環境を設定するスイッチが、本体下部にあります。本製品にあわせた設定を行なってください。

※ディップスイッチは下にさがっている状態がONです。また、SW番号は左から1、2、3と番号がついています。

②ディップスイッチ一覧〜PC−9801　VM21以降〜

■SW1	■SW2	■SW3
1 ON	1 OFF	1 OFF
2 OFF	2 OFF	2 OFF
3 OFF	3 ON	3 OFF
4 OFF	4 ON	4 OFF
5 OFF	5 OFF	5 OFF
6 OFF	6 OFF	6 OFF
7 OFF	7 OFF	7 OFF
8 ON	8 OFF	8 ON

PC−286、386シリーズ
・SW3−7をON
・SW3−8をOFF
他の設定はVM21以降と同じ

PC−9801VM11、UV11、Do、Do+
・SW2−8をOFF
他の設定はVM21以降と同じ

③クロック数について
PC−9801Do・Do+・VM11・UV11・UFは、オープニングを見る場合はクロック数を8に合わせてください。

9.VM2／4　UV2／4

■必要な拡張内容	・RAMを640Kバイト以上に拡張 ・16色ボードの拡張（VM2／4のみ）

①メモリの拡張について

PC−9801　VM2／4、UV2／4はRAMが384Kバイトの機種です。これらの機種はRAMの拡張が必要となります。RAMボード拡張の方法についてはハード本体付属の各マニュアルを参照してください。

②16色ボードについて

PC−9801VM2／4は16色アナログ表示能力を標準実装をしていません。これらの機種は16色アナログボードの拡張が必要です。

拡張がされていない場合は画面の色がおかしくなってしまいます。ボードの拡張方法についてはハード本体付属の各マニュアルを参照してください。

③ディップスイッチの説明

コンピュータの動作環境を設定するスイッチが、本体下部にあります。本製品の動作環境に合わせた設定を行なってください。

■PC−9801　VM／UV2	拡張RAM使用時
SW2の5をON SW3の8をOFF 他の設定はVM21以降と同じ	SW3の6をON 他の設定はVM21以降と同じ

10.ユーザーサポート

■ゲームが動かない？

・もしプログラムが立ち上がらなかったり、立ち上がっても正常に動作しなかった場合は、もう１度「セットアップ」の項をお読みになった上で以下の事をお確かめください。

1.ディスクは正しくセットされていますか？

2.周辺機器と本体の接続不良はありませんか？

3.お手持ちの機種とソフトが対応していますか？

・それでも正常動作しなかった場合はお買い求めのソフト・ショップにご相談ください。他の同機種のハードウェアで正常動作する場合、お手持ちのハードが故障している可能性が考えられます。
以上の点をご確認のうえで、なお、不良品と思われる場合は「ユーザーサポートシート」に所定の事項をご記入の上で、パッケージごと当社「天舞～三国志正史～」ユーザーサポート係までお送りください。

※お客様の誤動作による故障、不良の場合は規定の手数料を申し受けます。また、誠に勝手ながら本製品のユーザーサポートは、1992年12月31日をもって終了させていただきます。

■ユーザーサポートあて先
〒170 東京都豊島区北大塚2－10－6 6セントラルビル6F　ウルフ・チーム 「天舞～三国志正史～」ユーザーサポート係 サポート専用電話 03－5394－5565 月～金　午前10時～午後5時迄

ユーザーサポートシート（コピーしてお使いください）

○機種名等できるだけ詳しく記入してください。

（フリガナ）
§お客様氏名：

（フリガナ）
§お客様住所：

§お客様電話番号：

§コンピュータ機種名：

§拡張メモリー（有／無(有の場合はさらに内蔵か外付かを後記入ください)）：

§ディスプレイの機種名：

§マウス（有／無）：

§サウンドボード：

§ＭＩＤＩボード：

§ＭＩＤＩ音源機器：

§その他拡張ボード：

§問題点にいたるまでの操作および症状：